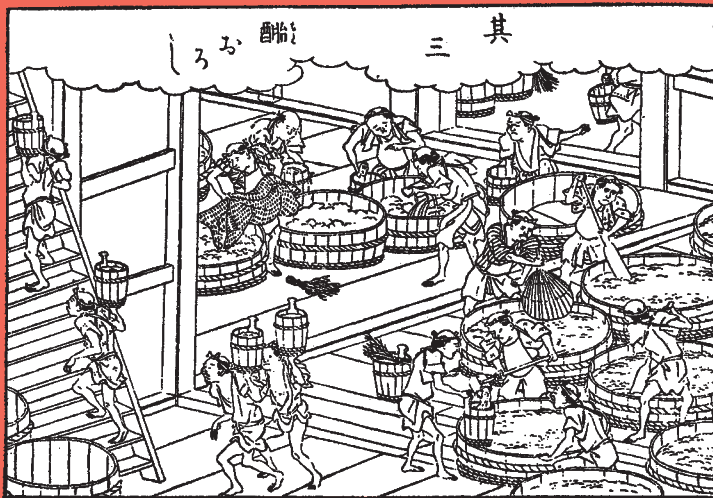


岩波書店の新刊

1

2017



吉田 元『江戸の酒—つくる・売る・味わう』(岩波現代文庫/2016年12月16日発売)より
「甌おろし」の図(「日本山海名産図会」より)

今月のヘッドライン

- 夢十夜 近藤ようこ 漫画 / 夏目漱石 原作
- 岩波茂雄文集—刊行開始 植田康夫・紅野謙介・十重田裕一 編
- キャスターという仕事(岩波新書) 国谷裕子

岩波書店の出版物はすべて定価販売です。
表示した価格はすべて本体価格です。定価はこの価格に消費税が加算されます。
お求めの岩波書店の出版物が小売書店の店頭がない場合は、その書店にご注文ください。
この新刊案内をご覧の上、あらかじめ書店にご注文くだされば幸いです。

●在日から照射する「戦後七〇年史」

ルポ思想としての朝鮮籍

中村一成

(なかむらいるせん氏は、ジャーナリスト)

イデオロギーではなく今なお譲れない一線(「思想」として「朝鮮籍」を生きた。高史明、朴鐘鳴、鄭仁、朴正恵、李実根、金石範——時代を駆け抜けてきたその壮絶な人生と思想を、ロング・インタビューをもとにルポ形式で克明に抉り出す。

四六判・並製力バー・240頁
本体2000円

978-4-00-061178-7 C0036
【対象】一般・図書館
【分類】社会

●12日発売

●「島」の無限の可能性を探る

島嶼学への誘い

—沖繩からみる「島」の社会経済学—

嘉数 啓

(かかずひろし氏は、琉球大学名誉教授)

地球面積の七%を占める「島」は、いま、グローバル化の中で、かつての弱点が反転する、大きな可能性をはらんでいる。異分野の研究を集結して、その多様なありようを議論する島嶼学。発祥の地沖繩をフィールドワークする入門書。

A5判・並製力バー・192頁
本体2800円

978-4-00-061171-8 C0036
【対象】一般・図書館
【分類】社会

●26日発売

●多岐にわたる著者の経済学研究の集大成

家計の経済学

橋木俊詔

(たちはなきとしあき氏は、京都女子大学客員教授)

日本の人口変動と家族形態の変遷から説き起こし、労働、所得、消費・貯蓄動向を分析し、近現代の日本人がどのような家計行動をしてきたかを示す。マクロ経済の大きな要素である家計を総合的に解明した著者長年の研究成果。

A5判・上製力バー・376頁
本体4800円

978-4-00-061165-7 C0033
【対象】専門・図書館
【分類】経済・財政・統計

●12日発売

■岩波科学ライブラリー 257

つじつまを合わせたがる脳

横澤一彦

(よこさわかずひこ氏は、東京大学文学部教授)

作り物とわかっているのに自分の手と思いつく。目の前にあるのに見落としてしまう。いずれも脳のつじつま合わせが引き起こす現象。このおかげで、われわれは安心して日常を生きていられる? 脳と上手につきあうための本。

B6判・並製力バー・128頁
本体1200円

978-4-00-029657-1 C0311
【対象】一般・図書館
【分類】心理(学)

●19日発売

■岩波現代全書 098

カント哲学の奇妙な歪み

—「純粋理性批判」を読む—

富田恭彦

(とみだやすひこ氏は、京都大学大学院人間・環境学研究科教授)

近代哲学はカントの認識論で素朴な経験主義を脱し、自然科学から自立したという理解は本当だろうか? 哲学的な事情を踏まえてカントの議論を見なおし、自然主義と全体論の観点からの近世哲学史理解へと導く。

四六判・並製力バー・240頁
本体2100円

978-4-00-029198-9 C0310
【対象】一般・図書館
【分類】哲学

●19日発売

●私たちが知らない、奇妙で長い歴史

アメリカと中国

松尾文夫

(まつおふみお氏は、ジャーナリスト)

一七八四年に中国へと辿り着いたアメリカ商船「中国皇后号」。そこから始まった米中関係は世界を動かす大きな力を生み出してきた。その歩みに深く分け入りながら、現地取材も重ねたジャーナリストが描く、唯一無二の歴史物語。

四六判・上製力バー・320頁
本体3000円

978-4-00-022095-8 C0031
【対象】一般・図書館
【分類】政治

●27日発売